

基本施策 6 食産業・観光の振興への寄与

◎：新規事業 ○：強化事業

食の安全・安心の確保は、札幌の食の魅力、食産業を支える基盤です。札幌の食が魅力的であり続けるには、食品製造業、飲食店等の食品取扱施設や大規模イベント等における食の安全・安心が確保されていることが不可欠であり、大前提となります。

また、札幌の食のブランド力を向上させ、食の魅力を生かした産業の高度化を図るために、北海道と札幌市の関係部局が緊密な連携をとりながら、食の安全・安心の確保についても、食品関係業界の活性化につながる施策の一部として積極的に検討、展開し、食産業や観光を振興する必要があります。

札幌市が“安全・安心な食のまち・さっぽろ”の実現を目指していることを市民や観光客に積極的に打ち出すことで、市民の意識向上、観光客へのPRや事業者の自主的取組を促進し、札幌のイメージアップにつなげていきます。

■主たる事業等

(1) ○大規模イベント対策【保健福祉局、観光文化局】（再掲）

オータムフェスト、雪まつり等の大通公園で催される大規模なイベントは、多くの市民や観光客にとって札幌の食の魅力を感じることができる機会となっています。

しかし、これらのイベントで提供される食品は簡易な施設・設備で大量に調理加工される場合が多く、衛生管理が不十分になりがちなことから、イベントに関連する担当部局と緊密に連携し、イベントの計画段階から実行委員会等の主催者に対して、事前指導を徹底し、期間中には、施設の監視指導を実施し、食品の適正な取扱い等について指導します。



オータムフェスト

第1章

第2章

第3章

第4章

1
施策の展開

基本
施策
1

基本
施策
2

基本
施策
3

基本
施策
4

基本
施策
5

基本
施策
6
食産業・
観光の振興への寄与

2
指標の
設定

資料編

(2) ○**食の安全・安心おもてなしの店推進事業**【保健福祉局、観光文化局】

市内飲食店や宿泊施設等で食の安全・安心に取り組んでいる優れた施設を対象に、アレルギー物質や栄養成分表示、禁煙・完全分煙、外国語表記など、さらに進んだ取組を実施している施設を「食の安全・安心おもてなしの店」として登録し、広く情報提供する「食の安全・安心おもてなしの店推進事業」を実施します。この事業により、市民や観光客が店を選ぶ際の一助とするとともに、事業者のこれらの取組を一層促進します。



食の安全・安心
おもてなしの店啓発品

(3) ◎**アレルギー原因食品ピクトグラム(絵文字)の普及**【保健福祉局】(再掲)

札幌市オリジナルのアレルギー原因食品のピクトグラム(絵文字)を作成し、事業者が店頭POP表示やメニュー等に掲載することで、子どもから高齢者、市民から外国人を含む観光客まで、アレルギーの情報を提供できるよう啓発します。作成にあたっては、ユニバーサルデザインとし、国や経済団体等と連携して広げていくことを目指します。

(4) **市内施策を視野に入れた食のブランド力向上**【保健福祉局、関係部局】

まちづくり戦略ビジョンに掲げられた「安全・安心の確保による食のブランド力向上」等の食関連産業の基盤強化の施策を視野に入れ、関係部局が緊密に連携しながら、食の安全・安心を含めた一体的な取組を積極的に進めます。

また、市内飲食店、宿泊施設等のアレルギー表示や栄養成分表示、禁煙等の取組を「食のおもてなし」として認定して市民や観光客に情報提供する「食の安全・安心おもてなし推進事業」や、北海道物産展等への出店PRなどにより、札幌の食のブランド力向上を図ります。

(5) **地元企業との連携・協働**【保健福祉局】

さっぽろ食の安全・安心推進協定の締結事業者を対象に、事業者から施設見学、試食会、料理教室等の市民向けPR企画を募集したり、札幌市の食に関するイベントへの共催出展、グルメ情報誌への取組の掲載など、札幌市と事業者が連携・協働した事業を企画・実施することで、地元企業の協力を得ながら、食品関係業界の活性化を目指します。

(6) **中小企業の経営基盤強化への支援**【経済局】

事業者が食の安全確保への自主的な取組の水準を上げていくことは、技術や経費等の面から必ずしも容易とはいえません。

食の生産拡大や高付加価値化を促進するため、6次産業化⁵³による新商品の開発、国内はもとより海外市場への販路拡大など、関係機関と連携しながら、事業者の経営基盤強化を補助・支援します。

(7) **効果的な広報**【市長政策室、保健福祉局、関係部局】

市民、事業者と札幌市の連携・協働による安全・安心な食のまちを目指すために展開する各種事業について、広報さっぽろや札幌市広報番組等を通して、広く市民に周知します。

また、食のイベント等を活用して市民や観光客に対し、札幌市の食の安全・安心に向けた取組の認知度を高めるなど、庁内で連携を図りながら、各種媒体を用い、目的・ターゲットを明確にした広報活動を行います。

⁵³ 6次産業化

第1次産業、第2次産業、第3次産業を融合させ、新たな産業振興を行うという考え方を表す用語。1×2×3=6であることに由来します。

第1章

第2章

第3章

第4章

1
施策の展開

施策本
1

施策本
2

施策本
3

施策本
4

施策本
6

施策本
6

2
指標の設定

資料編

2 指標の設定

“安全・安心な食のまち・さっぽろ”の実現を目指して、「安全の確保」、「安心と魅力の創出」の2つの柱のもとに、各種施策を進めるにあたり、計画の推進状況を評価する際の目安になるものとして、以下の項目を指標として設定します。

項目	現状値 (平成26年度) 平成27年3月2日現在	数値指標 (平成31年度)
食品の安全性に関する知識があると思う市民の割合	—	80%
HACCP 導入型管理運営基準施設数	—	1,000件
札幌市食品衛生管理認定制度の認定数(認定継続分)	61件	100件
札幌市食品衛生管理認定制度認知度	22.6%	40%
さっぽろ食の安全・安心推進協定の締結数(累計)	313件	500件
さっぽろ食の安全・安心推進協定認知度	5.3%	20%
食の安全・安心モニターの施設報告数(5年間)	979件	1,500件